

できていますか？



昨年9月4日に発生した西郷川護岸の崩落。
台風や停滞前線の影響で降り続いた大雨により川が増水し、およそ60mにわたって護岸と道路の一部が崩落したため、長期間通行止めになるなど市民生活に影響が出ました。

災害への備え

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。福津市内では今年7月、土砂災害警戒区域に対し、初めて避難準備情報を出しました。いつ起こるか分からない災害に、日ごろから備えておきましょう。

この時期は前線や低気圧、雨を降らせやすい地形などの影響によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより、集中豪雨が起きやすくなります。激しい雨が数時間にわたって狭い地域に降り続くことで、総雨量が数百mmにもなります。

この時期は、毎年こうした大雨によって河川の氾濫や土砂災害が発生しています。

台風要注意

年間を通じて、台風が最も多く上陸する月は9月です。過去に大きな被害をもたらした台風は、9月に上陸したものが多く、代表的なものに昭和9年の室戸台風や昭和34年の伊勢湾台風があげられます。

記憶にもまだ新しい、昨年の台風第26号による東京都伊豆大島の大规模な土砂災害もこの時期でした。市内でも、昨年9月に西郷川のJR鹿児島本線近くの護岸が一部崩

情報収集の備え

災害発生に備えて、正確な情報を収集することが大切です。テレビやラジオ、パソコンや携帯電話など、情報を収集できる手段をたくさん確認しておいてください。

その一つとして福岡県の「防災メールまもるくん」に登録することをお勧めします。災害、気象情報以外にも多くの情報を得ることができますので、ぜひ、利用者登録を行ってください。

○家の外(屋外)の備え

家の周りを見回し、アンテナの取り付け、瓦のズレやヒビ、雨どいの詰まり、窓ガラスや外壁のヒビ、周囲の側溝の詰まりがないかなど確認をしておきましょう。

○避難への備え

大雨による災害で怖いのは、土砂災害です。4月に各戸配布した防災マップで、自分の家が土砂災害警戒区域にあるかどうか、事前に確認しておきましょう。

危険を感じたら、ただちに避難をするようにしてください。夜間に大雨が予想される場合には、明るいう

ちに避難することがより安全です。普段から、避難所の位置や避難経路を家族で確認しておいてください。

家族が別々の場所にいるときに災害が発生した場合でも、安否確認の方法や集合場所などが分かるよう、日ごろから話し合うことも大切です。

まだまだ、備えていただきたいことはたくさんありますが、防災週間のこの時期に、ご家族などで防災や災害について、話し合ってくださいと思います。

非常持出品

緊急時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めしておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

非常持出品の例(家族の人数分、用意しましょう)

- 飲料水
- 食料品(ビスケット、栄養補助食品など)
- 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証コピー、権利証書など)
- 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- 生活用品(簡易毛布、タオル、着替え、マスク、軍手、雨具、生理用品、トイレトーパー、ウェットティッシュなど)
- その他(携帯電話の充電器、懐中電灯、携帯ラジオ、電池など)
- 乳幼児のいるご家庭は、ミルク、紙おむつ、ほ乳びん、母子手帳、お尻ふきなど

※避難所が体育館の場合は、ひざ掛けやブランケットなどの簡易毛布を準備しておく、硬い床に敷くこともできて便利です。



これは便利! 「防災メールまもるくん」

福岡県が提供する防災情報等メール配信システム「防災メールまもるくん」は、携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、防災情報や地域の安全情報、市からの緊急情報などを伝えます。登録は無料です(ただし通信料は登録者負担です)。ぜひ登録してください。

登録方法
①空メールから登録
mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp に空メールを送信し、返信メールの指示に従って登録してください。
②ホームページから登録
http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/ にアクセスし、指示に従って登録してください。

カメラ付き携帯電話などをお持ちのかたは、下のQRコードを読み取ってアクセスすることもできます。

